

- この會合に參加した組合は
- 日本労働組合總聯合
- 日本造船労働聯盟
- 東京計器従業員組合
- 横浜工信會

等の金屬産業カ諸組合で、運動としては、陳情書、決議文等が悉く八万枚を製作し、輿論を起し、内閣及び各省各局を登訪して失業対策を呈示し、皇宮貴族院議院全部に陳情書と決議文を呈出した。

八月五日、東京協同會館にて第二回協議會は、全國的の運動を拡大することに決定し、八月七日大阪朝日ビルに於て第三回協議會を開いた。

日本労働組合總聯合  
日本労働総聯盟  
横浜工信會  
勇信労働組合  
日本造船労働聯盟

### 檄

全日本の労働者よ  
**鐵工!! 機械工!! 電気工!! 造船工!! 一鐵金屬工!!**  
**請書!! 全労働者請書!!**  
 今ぞ、全日本の金屬工として厭座する時が来た  
 我々の生活のために、我々の技術の擁護のために、我々日本の産業開發のために!!  
 今や日本は、内外を擧げて、重大危機に直面して居る、

思ふに其の禍根こそは、全日本を襲ふ、失業にある、政府はこの対策を如何に講じつゝあるか、眞に國家的、國民的立場に於ての策にあらず、失業救済の美名に隠れた、利權的土木事業乃至は、一食一飯のお惠救済に過ぎず、何等金屬産業熱練工に及ばず、何物もなく、非生産的な不徹底極まるものである。

我々は此れこそ、國家國民的救済に於ける、我國産業開發を阻害するものとする。我々の生活を救済するものとして請書せんとするものである。

### なかつた。

▲産業の國家統制  
 往々に資本主義の範疇に右顧左盼、國家百年の計を越て民衆の方途を導かんとせず、單なる失業問題として、土木事業か、一機のお病政策である。これこそ重金屬工の技術を泥土に蹂躪するに等しく、一方日本民族の精神作興の上からも一食一飯のお惠の方便政策は有害であり又何ぞ不生産的な愚策なることよ。

重金屬工、いわゆる、機械工、鐵工、電気工、造船工、製鐵工の修得せる技術の必要性は、産業上絶対的である。而して此の技術は一朝一夕に成るものでない、永い修練、琢磨の研鑽を以つて成るものである。しかも有用にして、得難ひ、重金屬熱練工が一度失業せんか、技術を自己の生命とする立場から、其の苦しみは、實に非常なるものである。而して遂に結果は轉職、失業のため、辛苦の結晶たる、技術は其の効果と威力を失ふに至つて仕舞ふ。

▲重金屬工は文化の礎石也